

## みずほCustomer Desk Report 2017/04/26 号(As of 2017/04/25)

## 【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	109.63	1.0866	119.13	0.9958	1.2780	0.7559
SYD-NY High	111.19	1.0950	121.64	0.9970	1.2846	0.7570
SYD-NY Low	109.60	1.0852	119.09	0.9920	1.2775	0.7521
NY 5:00 PM	111.09	1.0924	121.52	0.9934	1.2841	0.7535
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	9.09/9.52		25RR	0.998	Yen Call Over	

NY DOW	20,996.12	232.23	債券市場	日本2年債	-0.2000	1.3bp
NASDAQ	6,025.49	41.67		日本10年債	0.0260	0.4bp
S&P	2,388.61	14.46		米国2年債	1.2704	4.1bp
日経平均	19,079.33	203.45		米国5年債	1.8549	5.3bp
TOPIX	1,519.21	16.02		米国10年債	2.3322	5.9bp
シカゴ日経先物	19,225	325.00		独10年債	0.3780	4.9bp
ロンドンFT	7,275.64	10.96		英10年債	1.0850	3.4bp
DAX	12,467.04	12.06		豪10年債	2.5950	-
ハンセン指数	24,455.94	316.46		為替市況	USD/CNH	6.8884
上海総合	3,134.57	5.04		ドルインデックス	98.79	▲0.31

東京	朝鮮人民軍創設85周年を迎え北朝鮮を巡る警戒感が高まる中、朝方はリスク回避的な円買いが強まり、東京時間のドル円は109.63レベルでオープン。升值にかけてドル買い優勢の展開となり、109.90まで上昇。その後は日経平均株価の堅調推移を背景にドル円は110円台前半まで上昇。北朝鮮が大規模な砲撃演習を行ったと報じられたが、相場の反応は限定的となった。110円台前半でののみ合い推移が続き、結局110.21レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
----	---

ロンドン	ロンドン市場のドル円は上昇した。110.21レベルでオープン。海外時間同様、警戒されていた北朝鮮の朝鮮人民軍創設85周年での核実験や大陸間弾道ミサイル発射実験が行われず、地政学リスクが後退。その後はトランプ政権の税制改革への期待感等を背景にドルが買われる展開となった。さらに、米金利の上昇もドル買いを助け、110.47レベルでNYへ渡った。ボンドドルは上昇。1.2795レベルでオープン。特段の新規材料のない中、仏大統領第一回投票後のリスクオントが継続していることを背景にボンドも値を上げ1.2826レベルでNYへ渡った。(ロンドンルリー 00531 444 179 丸野)
------	---

ニューヨーク	地政学的リスクとして警戒されていた朝鮮人民軍創設85周年の記念日は、弾道ミサイルの発射などもなく単なる砲撃演習にとどまつたことから、リスク回避ムードが一段と後退する動きに、海外市場のドル円は上げ幅を拡大し、110.47レベルでNYオープン。堅調な海外株の流れを引き継ぎ高値寄りした米株が、トランプ政権による税制改革への期待感を背景に、米長期金利上昇と共に一段と上げ幅を拡大する動きを受けてドル円も一転調子で上昇。また、米国内の原油在庫取り崩し期待を背景にWTI原油が7日ぶりに反発したことでも支援材料となり、ドル円は約2週間ぶりに111円台を示現し、高値111.19まで上昇。これまでドル円の上昇を抑えていたBrexit懸念や北朝鮮を巡る地政学的リスクが後退する展開に、ドル円はその後も111円台で底堅い推移が続き、111.09レベルでクローズした。なお、ナスダック総合指数が史上最高値を更新し、初の6000台引けとなつた。一方ユーロドルは1.0888レベルでNYオープン。フランス大統領選でのマクロン氏当選を確実視する見方が強まるなか、27日のECB理事会がタガ派な内容になるのではとの期待も台頭し、ユーロドルは昨日高値の1.0940を上抜け、年初来高値となる1.0950まで上昇。しかしその後米長期金利の上昇を背景にユーロドルは1.0925まで値を戻し、1.0924レベルでクローズした。
--------	--

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:高野・森谷

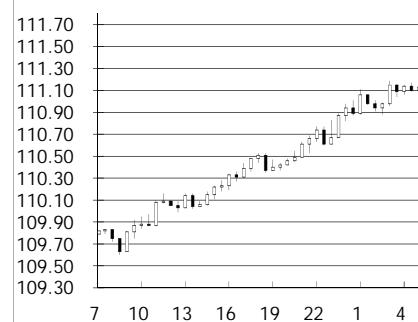
## 【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月25日	23:00	米 新築住宅販売件数	3月 621K	584K
	23:00	米 消費者信頼感	4月 120.3	122.5

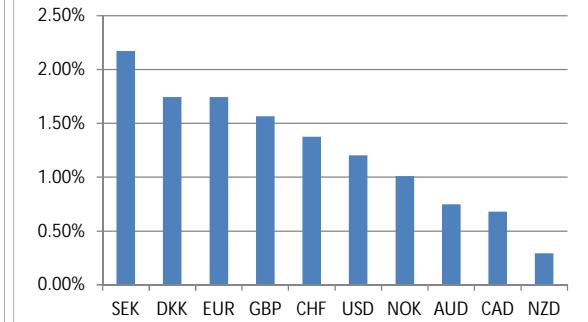
## 【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月26日	10:30	豪 CPI(前期比/前年比)	1Q 0.6%/2.2%	0.5%/1.5%
	10:30	豪 CPIトライム平均値(前期比/前年比)	1Q 0.5%/1.8%	0.4%/1.6%
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指數	-	-1.8%

## 【ドル円相場】



## 【対円騰落率(日次)】



## 【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.50-111.50	1.0870-1.0950	121.00-121.50

## 【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は、北朝鮮の地政学リスクが後退し堅調に推移した。昨日は朝鮮人民軍創立85周年記念日であったため北朝鮮による核実験やミサイル発射等の挑発行為が警戒されていたが、特段何も起こらなかったことから日経平均株価や米長期金利や欧米株の上昇を横目に、ドル円は底堅く推移し、この日の高値111.19円をつけた。本日のドル円相場は上値重い展開を予想する。本日はトランプ米大統領による税制改革の発表を控えており、マーケットの注目が集まっている。しかしトランプ米大統領の税制改革には具体性が伴わない可能性もあり、政策実行能力も以前から疑問視されているため、積極的な買いにはなり難いだろう。以上のことから本日のドル円相場は上値重い展開を予想する。